

- ◎共通する考え方
- ・県民・団体・自治体・企業等がつながり、全体で地域から波を起こす
 - ・保険者（市町村）による人材確保の取組み推進と、県としてのバックアップ

各種施策の実施状況

・外国人介護人材のルート

	EPA	在留資格 (介護)	技能実習	特定技能 1号	特定活動 インターンシップ
目的	二国間の経済連携の強化	専門的・技術的分野の外国人の受入れ	本国への技能移転	人手不足対応のため専門技能を有する外国人受入	インドネシアの大学生が富山県で就労体験
備考	受入れ人数少ない	国家試験方法変更の影響	2027年を目途に育成就労へ	就職先の移動が可能、定着・国家資格取得	帰国し看護師資格取得後、特定技能で再入国

・外国人介護人材確保に向けて基本的考え方の整理が必要

→ 県・市町村・事業者・地域として

(参考) 技能実習制度見直しの時の視点

- ①外国人の人権が保護され、労働者としての権利性を高める
- ②外国人がキャリアアップしつつ活躍できる
- ③外国人との共生社会の実現

外国人支援策 → 市町村・事業者にあまり知られていない

- ・外国人介護福祉士候補者受入施設学習支援事業
- ・外国人介護人材受入施設等環境整備事業
- ・介護特定技能外国人マッチングから定着までの一体的支援事業
- ・外国人材・就職サポート事業
- ・外国人材日本語習得サポート事業費補助金 など

外国人介護人材確保施策に対する主な意見・提案

広報・啓発(魅力PR)

- ・法人や市町村広報誌に外国人労働者インタビュー掲載
- ・富山県が第2の故郷となるような外国人介護人材確保施策の地域住民・県・市町村・事業者の規範的統合

教育・養成(資格取得等支援)

- ・教育県である富山らしい魅力的な包括的プログラム
 - ・N2までの日本語学習支援
 - ・国家資格取得までのキャリアアップ教育やサポート支援
 - ・生活支援・地域交流支援の強化
 - ・県内圏域ごとの教育機関・関係機関の拠点整備
 - ・留学生の確保の強化 など
- ・日本語学校の誘致

確保(参入促進)

- ・入管法及び育成就労法等の理念及び実務の正しい理解
- ・富山県外国人介護人材受入施設等環境整備事業費補助金の補助対象拡充

定着(資質向上・職場環境整備)

- ・ネットワーク・交流促進・ウエルカムな雰囲気づくり
- ・外国人同士が悩みや意見交換するサロン

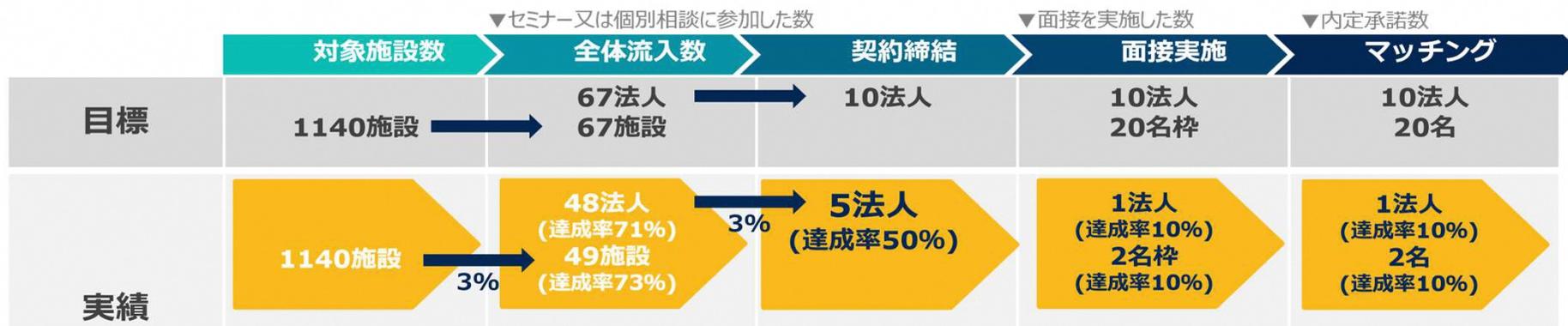
ポイント どの業界も人手不足で外国人の人材確保も過熱。人口政策の中で考える必要があるが、当面

- ・外国人介護人材受入れの基本的考え方(理念)を共有→保険者(市町村)・事業者・地域住民等への浸透
(在留資格制度や県内の受入状況の現状を把握し、必要とされる介護人材のうち外国人材の割合の目安を示し、共有できないか)
- ・富山県が選ばれる存在となるよう、海外、国内での魅力発信
(富山県の魅力、介護ロボット先進県はじめ富山の介護の魅力、キャリア支援等魅力的な包括的な支援プログラム等)

介護特定技能外国人マッチングから定着までの一体的支援事業の実施状況について

富山県厚生企画課

本年度から実施の外国人職員のさらなる受け入れ促進に向け、1号特定技能外国人のマッチングから定着までの一体的にサポートする本事業について、**現時点で5法人が契約済となっています。**



10/11現在 業務委託先（パーソルグローバルワークフォース）作成

検討いただいた介護事業所の声

【採用まで結び付いた事業所の意見】

- ・外国人材本人との面接でレベルが高いと評価し、採用。急遽追加で2名採用することにした。（富山市）

【検討中の事業所の意見】

- ・2026年に新規施設オープン予定で日本人が採用できる見込みがないため、外国人の採用に踏み切った。（富山市）
- ・休止していたグループホームの再開にあたり、採用予定。すでに技能実習生は受入済。（中新川郡）
- ・日本人スタッフの定着に力を入れ離職も減ってきた。5年で帰ってしまう可能性のある人材の採用には抵抗感がある。（富山市）
- ・周りに家がなく、生活環境のケアが難しい。採用にコストをかけたことがないため予算がない。（氷見市）
- ・外国人材の採用には抵抗感がある。今までしっかり説明を受けたこともなく、検討には時間を要する。（黒部市）
- ・事務長は興味があるが、理事長に予算的にNGを出されてしまった。（砺波市）